



まちのかかりつけ医

中富良野町立病院



国民健康保険中富良野町立病院（以下、「町立病院」）は、入院・外来診療をはじめ、新型コロナウイルスワクチン接種、乳幼児の予防接種、各種健診・人間ドックなど町民の皆さんへ安心・安全な医療を提供しています。今回は、診療案内と町立病院の歴史について紹介します。

町民の皆さんへ

町立病院長 水野 正巳

町立病院として何ができるのか考えたとき、日々の内服の処方、症状に応じた適切な病院の紹介、入院治療と専門的な大きな病院での長期入院ができないときの入院先を考えていました。

最近では健診の種類と件数が増え、介護意見書などの各種申請業務の増加、インフルエンザ予防接種7年に2千件を超え、今年は12歳以上の町民対象のコロナワクチンも開始になりました。コロナワクチンの有効期間によっては一年の多くの期間をワクチン接種に従事することになりそうです。

医療機関としての役割は変化していますが中富良野町のニーズにこたえて病院を運営していければと思います。



診療案内

○ 診療科目

内科
小児科

○ 病床数

35床

○ 診療時間

午前：8時15分～12時
（受付11時30分終了）
午後：13時～17時
（受付16時30分終了）



○ 休診日

土・日・祝日及び年末年始

◆ 次に該当する方は、病院受診の際の乗合タクシーの利用料金が無料になります。

- ① 65歳以上の方
- ② 障がい者手帳をお持ちの方
- ③ 妊婦の方
- ④ 乳幼児

①～④の介助者または保護者
☎ 福祉課社会福祉係 44-2125

町立病院の歴史

昭和25年 中富良野農業協同組合が「クミアイ病院」を開設

昭和39年 中富良野農業協同組合より移管を受け「国民健康保険中富良野町立病院」を開設

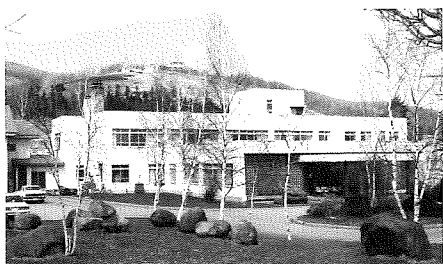
昭和44年 現在地に移転新築

昭和51年 増築

平成2年 増改築



町立病院の前身「クミアイ病院」



昭和44年 現在地へ移転した病院

看護科よりメッセージ

自治体病院としての役割は、令和2年より流行している新型コロナウイルス（COVID-19）を気にせず当院を受診してもらえようという、院内感染対策委員会を中心とし感染症対策を行っています。

外来のソーシャルディスタンス対応・発熱外来の開設・職員の健康管理など多くの課題に向き合い、緊張感を持ちながら業務を行っています。

そして、コロナワクチン接種を少しでも早く町民の方に実施し、安心して生活を送ってもらうために職員や町民の皆さんのお力を借りて実施しています。



接種希望していても、接種できない方は、コロナに感染するのでは「不安な生活をしている」思います。1人でも多くの町民の皆さんが接種できれば、接種できない方の感染リスクが少なくなると思います。接種実施のため受診時間の制限など「不便をお掛けしています。」（町民の皆さんのご協力があるから「コロナ予防接種が進んでいます。」）

65歳以上の町民の方で肺炎球菌ワクチン接種対象者は、予約開始しましたので「当院までお問い合わせください。」暑い日が続きそうですので、熱中症対策に塩分・水分の補給を忘れずに。